

松山新聞

まつかわ



松山町公民館報 第687号

オープン!



新しい中央公民館が完成し11月1日にオープンしました。

町のケーブルテレビ、チャンネル・ユーとの併設施設で、愛称は「えみりあ」。「えみりあ」とは、笑顔があふれるエリアという意味がこめられています。

みなさんもお気軽に見学にお越しください。

施設の中で一番広い「えみりあホール」はコンサートや式典、大人数の会議などさまざまな利用ができます。ステージは壁に収納でき、用途に応じて出したりしまったりできます。



ロビー



入り口を入ると広いロビーがあり、自由に歓談できます。新しい公民館は、下足のまま中に入ることができます（調理室・交流室・和室を除く）。また、施設の予約などをする受付窓口は、入り口を入ってすぐ右側にあります。

受付



新中央公民館、チャンネル・ユー 併設施設

えみりあ

3F



学習室3

階段は近づくだけで照明がつくセンサー式です。

大きな鏡に、防音の床が設備された学習室3は、ダンスなどの練習に最適な部屋として、多くの希望を受けてつくられました。

(※3Fの一部はチャンネル・ユーのエリア)

2F



学習室1

さまざまな学習や交流の場となる学習室は、2階に2部屋設けられています。どちらもイスとテーブルが備えられています。

また、2階には和室も1部屋あり、たたみでの活動もできます。

和室



1F



交流室

建てかえ前の旧中央公民館の2階にあった調理室は、えみりあでは1階につくられ便利になりました。すぐとなりには、小さな子どもたちも気軽に集まれる交流室があり、授乳時にはカーテンで仕切ることができるスペースもあります。

調理室



1階には、会議室や談話室、チャンネル・ユーのオープンスタジオもあります。

「えみりあ」の竣工を記念して 寄贈していただききました

見る人の心を豊かにしてくれたり、また「えみりあ」を利用する際に役立つたりする貴重なものをいただきました。ありがとうございます。 「えみりあ」を利用されるみな様には、来館される際にご覧いただいたり、感謝して使用したりしていただくようお願いいたします。

石像1体 「ひんごや雲」

- 株式会社長建築設計事務所様
- 株式会社桂建築設計事務所様
- 株式会社神稲建設様
- 株式会社林材木店様
- 株式会社新井電気工事様
- 株式会社明和工業様
- 株式会社角藤様

- 綿半ソリユーションズ様
- コンテックナガイ様
- シブキヤ建設様
- 北島建工様
- 株式会社松川家具センター様

より一階ロビーに設置しました。少女が空を見上げ、ひんご雲を見ている表情から夢や希望を感じます。



写真1点 「残月につるし雲流れて」

松川町に在住される方より

日本山岳写真協会的一般公募において特選に選ばれた作品です。五竜岳の頂上から鋸岳を映した写真で珍しい「つるし雲」がかかっています。ギャラリーに展示する予定です。



スリッパ30足

「2・3gの会」様より

調理室は下足使用ではないので、上履が必要になります。そこで利用者に使っていただけるよう靴を履きかえるところに置いてあります。



ギターアンプ 1台

宮下和門様より

音楽活動で使用します。特にエレキギターの演奏やそのための練習をする際に使うことができます。



平成28年度 まつかわ大学第11期 第2講座

これから どうなる、 グローバル 経済と日本

辛口評論で
大人気！
浜 矩子さんを
拝聴しましょう！

松川町制60周年

12月3日(土) 開場12:45 (開演13:00) 会場 えみりあホール

講師：浜 矩子 氏
(同志社大学大学院ビジネス研究科教授/エコノミスト)

●オープニングセミナーとして、吹奏楽の演奏を予定しています。
●まつかわ大学第11期生・高校生以下は、入場無料。一般の方は観覧料500円、定員250人。
●事前申込みが必要となります。電話またはFAXにて12月2日(金)17:00まで、事務局まで申込みください。電話またはFAXにて11月25日(土)までにお申し込みください。

まつかわ大学運営委員会
(申込み・問合せ 中央公民館 ☎/FAX 36-2633)

まつかわ大学と「えみりあ」自ら学び意欲をもつ参加し、多方面にわたる知識を身につけ、生涯にわたって豊かな生活が営めることを目的に「まつかわ大学」が開催される11年目を迎えます。この機会にぜひご参加くださいませ。

問題 考える みんなで 権考 仲良く 人を

松川中学校

「みんなで跳んだ」を2学年で視聴しました。運動会でのクラス対抗大縄跳びで、苦手な生徒も一緒に跳ぶか、それとも回数にこだわって苦手な生徒と一緒に跳ばないかという話し合いを通して、クラスが団結していった実話をもとにしたお話です。以下は生徒の感想です。

2年3組 宮澤 花南

最後に矢部ちゃんを入れて、皆で跳ぶことを話し合いで決めたことに感動しました。皆で一つのことを成功させるのはとても難しいことだけど、その分うれしさや達成感があるとと思いました。良い結果を残すのは大切です。でも、できない人を責めることはよいことではありません。皆で励まし合い、時には話し合いをして、皆が納得できる答えを出すことが必要だと思います。

た。私は、このビデオを見て、ああいう気持ちで、一つになれるクラスを作りたいと思いました。スポーツフェスティバルがもうすぐ開催されます。リレーでは仲間を責めることがないように、心を一つにしてやりたいです。

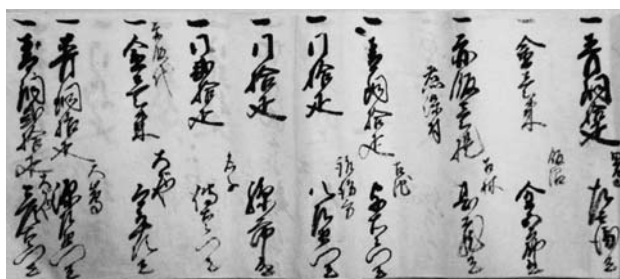
2年4組 岡部 桃花

私は負けず嫌いだから、できない人がいて勝てないと、すごく嫌な気持ちになります。でも、もし「できない人」が自分だったら、「もつと真剣にやつてよ」とか言われ、態度が悪くなり、雰囲気まで暗くなったらショックです。だから、この物語のクラスメイトのように、どんな人でも受け入れられる心の広さを持ちたいです。そして「その人がいると、上手くできない」と考えるのではなく、「その人と、どう頑張るか、成功させるか」を考えられるようになるか」を考えたいです。松風祭を終えた今、私のクラスは更に団結力が高まっているはず。クラス全体で「一人でも欠けたらダメ」という雰囲気作りに努めたいです。

松川町今昔

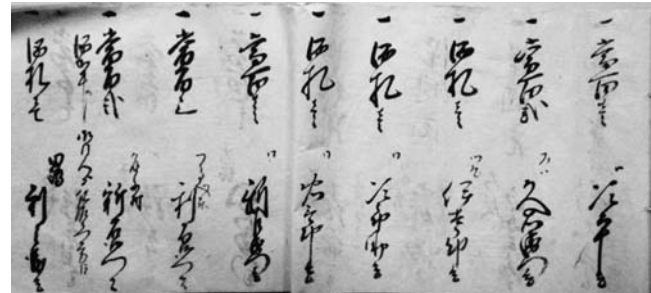
第6回 「江戸時代の祝儀・香典」

現代では結婚式の祝儀や葬式の香典などお金を包んでいくことがほとんどですが、江戸時代はどうだったのでしょうか。上片桐の北原家(屋号・北垣外)の古文書の中に、「婚礼祝儀受納帳」「香奠請納帳」などの帳面が何冊あります。それらを見ると当時慶事・弔事の時どのようなものを持っていたのか、その一端を知ることが出来ます。



「香燭受納帳」 「香奠請納帳」などの帳面が何冊あります。それらを見ると当時慶事・弔事の時どのようなものを持っていたのか、その一端を知ることが出来ます。持って行ったものは、まずお金があり、古文書では、「青銅式拾定(銭20文)」「金五拾定(銭50文)」「當百(銭50文)」「當百(天保銭)100文」などと記録されています。お金は銭(銅銭)がほとんどでしたが、中には「南鐮一片(銀)」や「金一朱」というように金や銀もありました。祝儀・香典といっても

さほど多額ではなかったものと思われ。お金のほかには品物で持つていくことがありました。品物はいろいろありますが、野菜・魚貝・米・粉・牡丹餅・赤飯・五目飯・菓子・酒・海苔・お茶のように婚礼や葬儀の時によく使われるようなものが多かったようです。このほかに線香・ろうそくなどもありました。が、祝い品として扇子・風呂敷・足袋や鯛(寿留女)などもありました。



江戸時代後半から明治時代にかけてこうした札の使用は増加していききました。しかし現代と違いどこでも交換できる共通の札ではなく、発行した店だけで交換できるというものでした。 店へ行つて品物と交換してもらうのです。 この札には印刷した札もありましたが、手書きで印を押したものもありました。品物で持つていくより手軽で便利だったのでしよう。 また札には札番号や札の作成月日・引替



江戸時代後半から明治時代にかけてこうした札の使用は増加していききました。しかし現代と違いどこでも交換できる共通の札ではなく、発行した店だけで交換できるというものでした。 松川町資料館 伊坪 達郎

紅葉深まる中 スポーツ

第45回 南信少年 柔剣道大会

10月2日(日)に岡谷市民総合体育館で第45回南信少年柔剣道大会が行われました。結果は次のとおり。

〈剣道の部〉 小学生低学年の部

- 団体3位
- 先鋒 島田 太陽
 - 次鋒 橋場 光平
 - 中堅 水野 駿介
 - 副将 長砂 良芽
 - 大将 松澤 伸弥

小学生高学年の部

- 団体3位
- 先鋒 大場彩々音
 - 次鋒 宮島 千空
 - 中堅 平島 弥佳
 - 副将 水野 至應
 - 大将 水野 里菜

小学生3・4年の部

- 個人戦3位
- 橋場 光平



第21回オープンミックス バドミントン大会

10月23日(日)に町民体育館にて、第21回オープンミックスバドミントン大会が行われました。

結果は次のとおり。

〈松の部〉

- 優勝 澤口 飛馬・萩沼由果梨

- 第2位 小平 真斗・松尾 遥
- 第3位 木下 晴樹・中村ななみ

〈川の部〉

- 優勝 河合 将司・蒲 奈美保
- 第2位 木村 壮一・吉川 祐奈
 - 第3位 小沼 良太・清水 菜芳

〈町の部〉

- 優勝 山崎 勇一・林 暁
- 第2位 市原 英信・今井 博美
 - 第3位 北原 和人・中川オルガ

平成28年度 夜間ソフトボールリーグ

平成28年度夜間ソフトボールリーグの結果は次のとおりです。

夜間Aリーグ

- 優勝 松川
- 第2位 桑西クラブ
 - 第3位 上町SBC

夜間Bリーグ

- 優勝 清一

- 第2位 諏訪形
- 第3位 中央新井南部

平成28年度 壮年ソフトボールリーグ

平成28年度壮年ソフトボールリーグの結果は次のとおりです。

- 優勝 城山クラブ
- 第2位 上片桐球友
 - 第3位 鉄人28号

平成28年度 シニアソフトボールリーグ

平成28年度シニアソフトボールリーグの結果は次のとおりです。

- 優勝 上新井
- 第2位 上片桐
 - 第3位 名子

平成28年度 OBソフトボールリーグ

平成28年度OBソフトボールリーグの結果は次のとおりです。

- 優勝 上片桐
- 第2位 上新井
 - 第3位 大島

平成28年度 松川町ソフトボール 総合選手権大会

10月23日(日)に運動公園グランドで松川町ソフトボール総合選手権大会が行われました。結果は次のとおりです。

- 優勝 城山クラブ(壮年)
- 第2位 宗源原(オープン)
 - 第3位 諏訪形(夜間B)

毎月第3日曜日は 家族ふれあう 「家庭の日」

訂正とお詫び

館報まつかわ635号(9月号)に掲載しました、ひと「地域一体で育ち学んでいける環境作り」の中で、「市岡 阿依さん」が「市岡 阿衣さん」となっております。訂正し、お詫び申し上げます。



長野県公民館活動推進功労者表彰を受賞

吉川 佳弘さん（大沢北部）

10年間社会部員として活動を行ってきた吉川さん。最初先輩から、やってみないかと誘われて、何をやるか知らない状態で入りましたが、社会部の部員に知り合いが多く、

不安無く活動ができたそうです。社会部では、代々行ってきたあいさつ運動をはじめ、音楽祭・人形劇と事業を行ってきました。事業の企画・準備を通じて、公民館の部員や参加者との交流があり、若者との交流で高校生など幅広い世代との交流ができました。公民館の活動を通じて、人とのつながりが増えた結果、世代の違う知り合いが増えたそうです。

公民館の活動は、誰もが経験できる事じゃなく、貴重な経験をさせてもらえたので、今後の人生に役立てて行ければいいかなと思うそうです。また、公民館が新しくなり、沢山の人が公民館を知って利用してもらい、私のように人とのつながりが増えればいいかなとも語ってくれました。10年間の公民館活動大変お疲れ様でした。

地域を知る講座 10/22 ツツザキヤマジノギク観察会

すぽっと

「紫色の可憐な花が無数に咲いていて本当にきれいな。」
10月22日(土)に天竜川西岸の河川敷で、講師に「伊那谷自然友の会」の堤久先生をお迎えし「ツツザキヤマジノギク観察会」(松川町公民館主催)が行われました。堤先生によると、ツツザキヤマジノギクは日本ではここ松川町にしかほとんど残っていないとても貴重な植物で、

絶滅危惧ⅠA類に指定されているそうです。以前はあちこちの小石がごつごつしている河原に生えていましたが、ダムができて環境が変わったり、外来植物が広がったりしてきたために絶滅の危険性が最も高いとされる植物となっています。花について堤先生から説明していただいた後、保護活動を行っている場所3か所で花が咲いている株数を数えました。今まで生えていなかった苔が生えてきて若干数は減ってきていますが、あたり一面にツツザキヤマジノギクの紫



色の花がみられ、「多くの人にこの貴重な花について知っていただきたいなあ」と強く思いました。

短歌

烏帽子岳

湯澤 順子 (増野)

植樹祭に夫と植えているミズナラ苗森となるまで見守っていたい

被爆者をしっかりと抱くオバマ氏の大き手の平温しと思う

烏帽子岳の登山道で聞く鶯の谷渡りの声に励まされる

背後から「ばあばだいすき」と言う幼われの首筋に腕まわしくる

姫路城の大黒柱のひび割れから今も残れる檜の香り



ちゅうくらいかない

北小1年 きたむら ひと

あおまくんと

ゆいさんと

あみかさんと

ぼくの四人で

はしりました。

スタートのときに

どきどきしました。

おもいつきり

はしったけど、

ヒリになりました。

かなしいきもちでした。

ちゅうくらいかない

きもちでした。

いっしょうけんめい

はしったから、

ヒリでも

ちゅうくらいかないかたさです。

かたつなひき

北小1年 きつかわ はく

おじいちゃんが、

「つんどつかいでがんばれ。」

と、おうえんしてくれました。

がんばってはしったのに、

四いになつちやっただけど、

「がんばればいよ。」

と、おとうさんがいつてくれました。

つなひきでは、

すごいパワーをだしたので、

てやあしがものすつていけたので

たです。

あかがかたつてよかったです。

とくたんばんが、

「っ」になつたので、

どきどきしました。

けっかは、あかのかちで

うれしかったです。





1本の尺八から心に染みる音がひろがる



多くの作品が広い体育館に並び



体育館にオープンガーデン!!



まつかわまちぶんかさいへゆくりびんぐださい



緑茶のやさしい味に、ホッと一息



楽しそうに作品に見入る親子連れ



子ども達の力作!!

第23回 町制施行60周年記念 松川町文化祭

平成28年 10月 28日(金) 29日(土) 30日(日) 会場 松川町 町民体育館



若さあふれる力強い書



信南バスとドクターカーのツーショット(鉄道模型)



アップテンポのリズムに合わせて踊る子供達

2022年 草

今年の5月に諏訪湖ハーフマラソン走ろうという友人の一言から自分も走ることになりました。あんまり乗り気ではなかったけど走るのなら練習して頑張ろうと思いました。でもなかなか連続して練習することが出来なくて自分の甘いところだと実感しました。それでも、2週間前に18キロ走る練習をして案外行けるかなと思いました。でも本番はそんなに甘くなかったです。(笑) 当日500円で自分の不安な所にティーンを巻いてもらえようというこで巻いてもらい、始まる前に少しアップした時体が重いなど思いあまり調子が良くなかったのでした。スタート位置は自分の提出した目標タイムの順番だったのでだいぶ後ろからのスタートでした。スタートしたら緊張してたのもやわらぎ自分のペースで走り8キロまで順調に走れました。そこから10キロまでスピードが落ちたわけではなかったけど、めっちゃくちや長く感じました。12キロくらいから横っ腹が痛くなりはじめ、自分には負けたくなかったので頑張って走り続けました。始まってからずっと風が強くて走るのがにだいぶ影響されました。18キロくらいに到達して足がだいぶ痛くなってきたので辛くなり止まってしまうました。止まったらもう足がすりそうになり走れなくなりました。ゴールまでまだ3キロあり最後の1キロまで歩いてなんとかゴールすることが出来ました。 ゴールした後は歩くだけでつりそうになってしまっても大変でした。ずっと走り続けることが出来なかったのが残念でした。こんなにも辛かったのは高校の強歩以来でした。でももうハーフマラソンはこの一回だけでいいかなと思いました。(笑) 最後のサービスの味噌汁が最高においしかったです。

米山拓也

公民館報 「まつかわ」 第 637 号 平成28年11月15日 発行所 松川町公民館 責任者 小沢 誠 編集人 公民館編集部 Tel 36-2622 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp 飯田市上郷黒田121 印刷所 龍共印刷(株) 再生紙を使用しています。